平成23年2月15日
毎日新聞 秋田版

おむつに排せつセンサー

使い捨て可能、1回分40円

秋田の企業開発 介護者の負担軽減

高齢者のおむつや尿取りパッドにセンサーを取り付けて排せつを感知し、介護士らに知らせる装置を秋田市で電子機器設計を手がけるベンチャー企業「秋田テクノデザイン」が開発した。テープ状のセンサーをおむつなどに張る仕組みで、使い捨てが可能。伊藤毅社長は「介護する人、される人の負担軽減になる」とアピールしている。【岡田悟】

「おしりカイテキ」と名付けられた装置は、カーボン素材を印刷した厚さ50マイクロメートルのテープ状のセンサーをおむつや尿取りパッドの内側に張り、送信機と受信機1台で15人分キャッチでつなぐ。汗や少量の尿では反応しないが、便や多量の尿を感知すると無線で受信機に知らせる。

センサーは1回分40円で、おむつと共に捨てられる。受信機一つで、15人分のデータを最大100メートル離れた場所でキャッチできる。この装置を用いれば定期的な確認は不要になり、介護される側もすぐにおむつを交換してもらえて、清潔さを保てる利点があるという。

センサーを張った尿取りパッドを手にする伊藤社長。手前は送受信機

伊藤社長は母親（09年3月死去）がかつて要介護状態で、ヘルパーの苦労を目の当たりにした。介護分野で働く友人からは「食事や入浴と違い、排せつの後始末を簡単にする装置がない」と聞いたこともあり、「技術の力で負担を軽減できないか」と開発に乗り出した。

高齢者介護施設でのモニター使用に加え、伊藤社長や社員も装着して反応を試すなど試行錯誤を重ねて完成させた。すでに名古屋市の病院で本格導入され、県内の施設でも試用が始まっている。伊藤社長は「大量生産すればセンサーの価格も抑えられる。より販売に力を入れて世界に発信したい」と意気込んでいる。

秋田
AKITA
akita@mainichi.co.jp

秋田支局
〒010-0951
秋田市山王6の10の18
☎018(823)2181
FAX018(823)2183
能代通信部
☎0185(71)1146
横手通信部
☎0182(32)4030

広告は
秋田毎日広告社
☎018(864)4120

購読は
☎0120・468・012

秋田中央 ☎(864)4522
秋田東部 ☎(834)6917
秋田北部 ☎(823)3024
秋田南部 ☎(839)7376
土崎 ☎(845)3844
湯沢 ☎(73)3786
横手 ☎(32)3049
大曲 ☎(62)0661